

2022年8月3日

8月10日（水）から京王ストア全27店舗で発売！

一合缶を通じて日本酒の新たな魅力を発信する「Agnavi」と連携し、
「京王×日本酒 ICHI-GO-CAN®」を発売します！

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：都村 智史、以下：当社）は、スタートアップ企業との連携施策として、株式会社Agnavi（本社：神奈川県茅ヶ崎市、代表取締役CEO：玄 成秀、以下：Agnavi）と連携し、京王線の車両をモチーフにした「京王×日本酒 ICHI-GO-CAN®」を京王ストア全27店舗で8月10日（水）から発売します。

「京王×日本酒 ICHI-GO-CAN®」は、有料座席指定列車「京王ライナー」としても運行している5000系車両や、京王井の頭線を走行する1000系車両をモチーフとしたラベルデザインの一合缶日本酒です。中身には八王子の農家に生産委託した酒造好適米「ひとごこち」と八王子高月清流米「キヌヒカリ」を使用した限定清酒で、高尾山などでも発売されている「高尾の天狗」を内蔵し、京王電鉄の車両と京王沿線の地域をより身近に感じていただきながら、親しみのあるデザインの一合缶で発売します。

Agnaviが展開する ICHI-GO-CAN® は、「手軽に日本酒の素晴らしさを伝えたい」という思いから開発した、一合180mlサイズの缶入り日本酒です。一般的に流通している日本酒瓶が抱えていた課題「重い・量が多い」を解決し、「小容量・オシャレ・持ち運び便利」を実現しています。当社がAgnaviと連携し「京王×日本酒 ICHI-GO-CAN®」を発売することで、京王線・井の頭線への親しみを深めていただくほか、沿線地域の魅力発信や活性化に努めてまいります。詳細は下記のとおりです。



 ICHI-GO-CAN®

《京王×日本酒 ICHI-GO-CAN® (イメージ)》

「京王×日本酒 ICHI-GO-CAN®」について

(1) 概要

有料座席指定列車「京王ライナー」としても運行している5000系車両や、京王井の頭線を走行する1000系車両をモチーフとしたラベルデザインの一合缶日本酒です。八王子の農家に生産委託した酒造好適米「ひとごち」と八王子高月清流米「キヌヒカリ」を使用した限定清酒で、高尾山などでも発売されている清酒「高尾の天狗」をより手軽に楽しんでいただけるよう、親しみのあるデザインと一合缶で発売します。

(2) 発売日

8月10日(水) ※限定生産にて無くなり次第終了

(3) 発売場所

①京王ストア(エクスプレス含む)、キッチンコート全27店舗

②Agnavi EC サイト(8月10日(水)オープン) <https://ichi-go-can.jp/products/keio>

(4) 小売価格

500円(税別)

(5) 内容量

180ml

(6) アルコール度数

16度

(7) 生産蔵元

舞姫酒造株式会社(長野県諏訪市)

(8) 企画・協力・ラベルデザイン

株式会社Agnavi

(9) お客様のお問い合わせ先

京王お客様センター

TEL. 042-357-6161(平日9:00~18:00)

【参考1】株式会社Agnaviについて

(1) 会社名

株式会社Agnavi

(2) 所在地

神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目2-18

(3) 代表者

玄 成秀(創業者/代表)

(4) URL

<https://agnavi.co.jp/>

(5) 概要

株式会社Agnaviは、日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を展開するベンチャー企業です。國酒である日本酒の魅力発信を通じて、日本の文化を世界に広めます。全国から厳選した日本酒を1合180mLの飲みきりサイズで提供し、よりカジュアルに日本酒を愉しむ仕掛けづくりを行っています。日本酒業界では、45年前のピークから約77%の消費が減少しており、その課題解決が急務です。一合缶というその容器や包装における差別化を通じて、日本酒の素晴らしさを国内外の多くの人々に伝えます。

以上